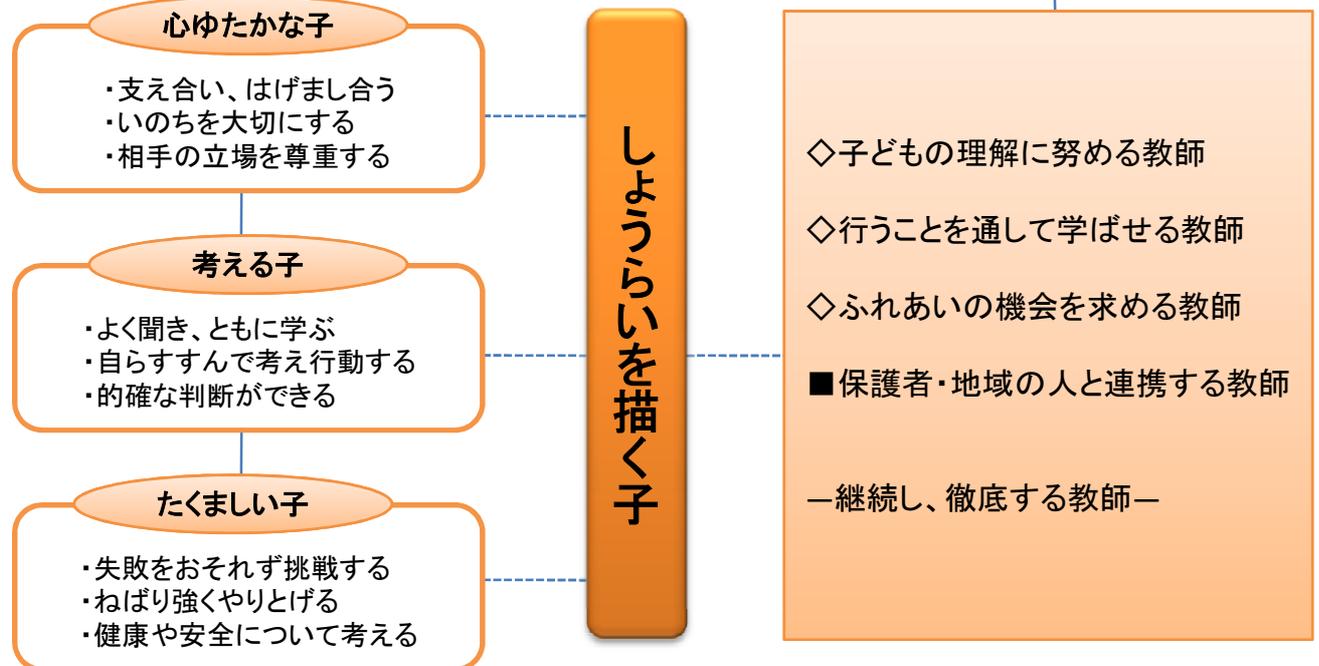


II 学校教育目標

学校教育目標

正しくことに処する判断と、新しい明日を生み出す実践力、豊かな心・体力を育む。
(かがやく子どもたち)



学校づくりの重点

- ①情報を共有する ②組織としての力を活かす ③開かれた学校にする

ひとりひとりを大切にする

人権を大事にする意識づくり

偏見や差別を許さず、苦しさに負けず、生き抜く強さと温かさを持った子どもの育成をめざし、自尊感情を育み、生活意識を高め、仲間意識を強める。

生き方を高める集団づくり

自主的な生活創造の体験と、基本的な生活習慣の形式をめざした仲間づくり・学校づくりに努めるとともに、学校生活上の課題に対する日常的共同体制を確立する。

ひとりひとりを伸ばす授業づくり

個々の活動や考えをもとにしながら、楽しさと喜び、集中と響き合いのある学習の創造に努める。

自立の基礎を培う

学ぶ姿勢づくり

- ・ 見ること、聞くことを確実に身につけさせる。
- ・ 課題を持って取り組ませ、その追求過程を見守る。
- ・ 学ぶ活動の中で人間的なふれあいを生み出す。



楽しさとけじめのあるくらしづくり

- ・ 各自が役割を持ち、生活をみんなで作れるようにする。
- ・ すすんで働き、気持ちのよい生活の場をつくれるようにする。
- ・ ルールを守り、けがのない落ち着いたくらしをつくれるようにする。

たくましい体と心づくり

- ・ 継続してやりとげることができるように支援する。
- ・ めあてを持ち、体力を伸ばす活動を続けられるようにする。
- ・ 保健、安全に気をつける生活態度を身につけさせる。



本年度の努力事項

子どもの人権を真に確立する

- ・ 人間的なふれあいのもとに子どもを知り、人間的な鍛えの道筋を探る。
- ・ 相互の人権を認め合う体験ができる場を設定する。
- ・ 豊かで素直な感情を表出し、高める場を設定する。

子どものくらしと連帯意識を高める

- ・ 何でも話したり書いたりできる自由な学級づくりに努める。
- ・ 連帯感や友情を育む、自主的・体験的な自治活動の場を設定する。
- ・ 安全で楽しい学校を約束やきまりの生活化に努める。

共生の心を育む

- ・ とともに学び、ともに遊び、共に伸び合う場を設定する
- ・ 意欲と表現力を育て、自信を持たせるように子どもの動きを支援する。
- ・ 学習資料を整理するとともに、いきいきした環境づくりに努める。

校内研修を日々の授業に生かす

